

アプリのこと

令和元年11月25日発行

つどいの家・アプリ編集

〒982-0816

仙台市太白区山田本町 3-20

TEL 022-743-1882

FAX 022-743-1883



今回の表紙はミントの板垣有吏子さん。パン掴み競争をした時の1枚です！有吏子さんは紐が大好きで、目の前でゆらゆら紐が揺れていると掴んで大笑いしています♪今回は目の前を揺れるパンを見つめて品定め……。数ある中からアンパンをゲットしました。そしてこの笑顔！やっぱり賞品があると燃えますよね！

(記：押切)

ひとりごと ～アプリからのお願い～

つどいの家・アプリでは、利用者が様々な日中活動に取り組んでいます。主に、運動（散歩）や外出活動の他に、室内で取り組める音楽活動・創作活動、工賃につながる作業活動にも取り組んでいます。例えば、段ボールやアルミ缶などの資源回収、ウレタンをちぎりながら作る布ボール作りなどが主な作業活動になりますが、その他利用者個別に合わせた作業品作成も取り組んでいます。

先日、お知り合いの方より機織り機をお譲りいただきました。昭和50年代の機織り機ということでした。活動の中でも機織り機に取り組んでいる利用者もいます。しかし、写真のように大きな機織り機を見るのは、触るのも初めてで、どのように組み立てて準備を進めればよいのか悩んでおりました。利用者の作業活動にも活用したいのですが、地域の方にアプリに来て織っていただければ嬉しいと考えています。

もし、この記事を見た方で、織り機に興味がございましたら、ぜひ利用いただければ嬉しいです。また、織り機を組み立てていただける方も募集しておりますので、織り機に詳しい方がいらっしゃいましたら、ご一報いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

（記：大累）



あっぺとっぺ市を開催しました

10月31日（木）宮城野区幸町にある宮城県障害者福祉センターで、『あっぺとっぺ市』がつどいの家連合保護者会と、つどいの家後援会の共催で行われました。今年度最後のバザーとして、各施設から掘り出し物や市場で仕入れた食品を持ち寄り、会場を品物で埋め尽くしました。当日の朝、スタッフが気合いを入れて会場に行くと……そこには、もう一番乗りのお客さんがいたのです！！しかも、アプリのバザーに来てくださった方でした！「アプリのバザーで、チラシをもらったから来てみた」とのこと。その後に来たお客さんも、アプリのバザーで会った方でした！他の地区なのに、来ていただいてとても嬉しかったです。その後

人もは続き、30人以上の行列となりました。開場後も多くの方が来場され、大盛況のうちに終了することができました。

『あっぺとっぺ市』にご協力下さった皆さま、どうもありがとうございました。

（記：加藤裕）



バザーっす！ 終了しました！

10月19日、毎年恒例の「～アプリのお宝市～バザーっす！」が開催されました。今年は朝から大雨で、お客様が来て下さるか不安に思いました。しかし、悪天候にも関わらず始まる前からたくさんの方に並んで頂き、例年を上回るにぎわいとなりました。回数を重ね9回目となるアプリのバザーが、地域の皆様を楽しみにして頂けていることが分かり、アプリ一同とても嬉しく思いました。今回から新たにスタンプラリーも取り入れ、こちらも大好評で多くの方が参加して下さいました！

また、バザー品も多くの方々に提供して頂き、豊富な品ぞろえで多くのお客様に喜んで頂きました。さらに今年度は総勢17名というたくさんのボランティアの方々にも参加してもらい、令和元年度のバザーは多くの方に支えられ大成功に終わりました。

バザーを開催するにあたり、物品提供やポスター掲示などのご協力を頂きました皆様、また、協力団体として一緒にバザーを盛り上げて下さいました、まるたま様・ポッケの森様・フリゴレス様に心よりお礼を申し上げます。来年度のバザーも楽しみにしてして下さい！（記：岡崎）



今年度のバザーっす！も地域の皆さまのご協力により、魅力的な品物を数多く取り揃えることができました。当日の各エリアについてご紹介します。

商品エリア 百円～高額

100円～300円で様々な商品が大量に並ぶほか、200円で衣類の詰め放題も！高額商品ブースにはお値段（最大1000円）以上の価値のある品物（ブランド品・家電等）も多く、まさにお宝探し！欲しかったものが思わぬ値段で見つかることもあり、バザーっす！の目玉エリアとして毎年朝早くから行列ができていました。

入口から入ってすぐのエリアでは、たくさんの本・おもちゃの他、地元の食品やジャガイモ・玉ねぎ等の野菜を販売！旬の瑞々しい梨も含め、多くの方が手に取っていました。アプリや将来構想の会による作業品コーナーも、作り手の技術やアイデアが光る一点物が数多く並んでいます。

エキストラ エリア

おいしい食べ物 エリア

まるたま様、フリゴレス様などの地域の企業による綿あめやポップコーン、水ヨーヨー、アイスコーヒーは幅広い世代の方に大人気！またポッケの森様特製の美味しいお惣菜・お菓子はランチやおみやげにぴったりで、併設する休憩スペースでお買い物後に軽食を取る方も多くいらっしゃいました。食品ブースは毎年あっという間の完売となってしまいます！

アプリのバザーっす！は来年度も開催予定となっておりますので、近くにお住まいの方はぜひ1度いらしてみして下さい♪バザー物品提供のご協力もお待ちしております！（記：寺島）



バジル・ローズグループ、作並温泉へ



10月14日、バジル・ローズグループで作並温泉の「かたくりの宿」へ外出しました！アプリでも何度か訪れているので、旅館の方々にも「アプリさんですね」と覚えて頂いていました。まずはやっぱり温泉！ということで早速温泉に♪日中の時間帯は他に利用されている方もおらず、貸切風呂状態でした！露天風呂もあり、景色を見ながら「気持ちいいね♪」と笑顔で温泉を楽しまれていました。



お部屋は畳が敷いてある広々とした宴会場を借りました。テーブルを囲みながらお弁当を食べ、その後は窓辺で本を読んだり、座布団を敷いて横になったり、職員とお話をしたり……と皆さん思い思いに旅館の雰囲気を楽しんでいました。身体も心もポカポカになる温泉、みなさんも寒くなるこの時期、ぜひ行ってみたいいかがでしょうか？

(記：淡路)

全国知的障害福祉関係職員研修大会

10月22日、23日に鹿児島で、全国知的障害福祉関係職員研修大会が行われました。

今回私は、20年以上勤務の功労者表彰という事で、遠い鹿児島まで研修に行かせていただくことができました。全国で560名の方が功労者表彰され、その内200名の方が会場にきました。20年の勤務はあっという間でしたが、思いがけず素晴らしいご褒美を頂き、研修を受けることができるとても良い機会になりました。

全体会では鹿児島のしょうぶ学園の福森統括施設長のお話を聞きました。『福祉の考え方は「医学モデル」から「社会モデル」へ移行している。そして今「文化モデル」へと変わってきている。音楽や、アートの分野でしょうがいを持っているからこそできる力がある。その差異を認めていき、強調することで自分らしく表現し、ワクワクする居場所づくりを行う。安心や安定だけでなく、自由で楽しい、影響力のある存在としての居場所。それを中途半端に行うのではなく突き抜けて、アブノーマルな所まで、法に触れるぎりぎりまで行きたい』というお話が印象的でした。服を破って糸を抜いて次々に並べるといの方は、問題行動と見られていましたが、今ではギャラリーで個展を開いて「先生」と呼ばれる存在になっているそうです。そのような価値を創造する、発想の転換が必要な時代になってきていると感じました。

(記：佐藤智)





わくわく交流フェスティバル



10月11日泉にあるシェルコム仙台で、第6回わくわく交流フェスティバルが行なわれました。気仙沼や白石など県内各所の福祉施設から多くの方が参加していました。

くじ引きや輪投げ、射的、ストラックアウト、パン釣り、サッカーゴール、フリスビー、迷路などのアトラクションがたくさん！アトラクションに参加すると点数に合わせて、景品ももらえるとあって真剣です。（特に「キャベツ太郎」や「あんぱん」「どら焼き」などの食べ物が、作業品より人気でした）車椅子で移動していた方も、立ってポールを的に向かって投げ、友達に負けないように頑張っていました。普段、競争する機会が少ないので、競い合うことも良い刺激になっていたようです。また、運動することが少ない方も、景品がもらえるという目の前の楽しみがあるため、積極的に参加し、いろいろな姿勢をとることができて楽しみながら運動することができていました。



午後からはステージで、楽天ゴールデンエンジェルスの方と一緒に楽しくダンスをしたり、手話の歌の発表、ヒーローショーが行なわれました。

（記：佐藤智）

中学生の施設実習

仙台市立人来田中学校第1学年の「福祉の授業」に講師として招かれ1時間ほど講義をしてきました。生徒の皆さんは、11月に地域の福祉施設へ実習に行くことになっており、その事前学習として「障害って何？」をテーマに話をしました。講義の後、いただいた感想には…

「自分が知らないうちにバリアをつくっている可能性もあるとは思っていなかった」「障害のある人が困らないように、自分でもできることを見つけたい」「みんなで協力して生きていけばいいな」など、私も目を見張るような、すてきな言葉がたくさんありました！

そして、11月12日(火)に同校の1年生6名がアプリに「福祉施設実習」のため来てくれたのです。午前中から昼食まで利用者と活動し、午後は車いすの操作体験・介護食の試食会を行いました。活動では、散歩に行ったり、エアトランポリンで遊んだり、一緒に食事をしたりしたのですが、始めは緊張していた中学生も、利用者さんに声をかけたり、手を伸ばしてタッチをしたりするようになり、笑顔で交流することができました！その後の車いす体験では、普段歩く道路には、段差や傾斜があって車いすの操作が難しいことを実感。

介護食(ペースト食)の試食では、見た目と食感にびっくりしていました。最後の感想では、少しずつ利用者さんたちと「コミュニケーションがとれるようになった」と感じられたとのこと。また来て下さいね。

（記：加藤裕）

インフルエンザについてのお話

今年も冬の季節到来とともに健康管理の難しい時期となります。
インフルエンザについて、少しでも知識を深めて予防に努めましょう。



※ インフルエンザとは

インフルエンザウイルスに感染して起こる感染症です。複数の型があり、主に A 型 B 型 C 型です。人に流行を起こすのは A 型と B 型です。A 型は人以外に豚・馬・カモ・ニワトリなどに感染します。一方 B 型は人にだけ感染します。インフルエンザの流行には季節性があり、国内では例年 12 月～3 月に流行し、短期間で多くの人に感染が広がるのが特徴です。

※ インフルエンザの症状

咳やのどの痛みなどの呼吸器症状だけでなく、高熱、全身のだるさ（倦怠感）食欲不振などの全身症状が強く、頭痛や関節痛、筋肉痛など呼吸器以外の症状を伴います。合併症としては、気管支炎、肺炎、中耳炎などがあります。重大な合併症には、インフルエンザ脳症や重症肺炎などがあります。

※ インフルエンザの予防

普段から健康管理をし、十分な**栄養**と**睡眠**をとって、抵抗力を高めましょう。外から帰ってきたら**手洗い**と**うがい**を心掛けましょう。積極的に**マスク**を着用しましょう。ワクチンを予防接種するとインフルエンザウイルスに対抗するための抗体を作らせることができます。（個人差があります）

※ インフルエンザの治療

主な治療法は、抗インフルエンザ薬を使用。インフルエンザ発症から、48 時間以内に使用するとウイルスの増殖を抑えて、症状が消えるのを早めることができます。症状が現れた際には早めに医療機関への受診をしましょう。

（記：看護師 菊地）

新職員紹介

看護師(ミント)

みなかわ ひろえ
皆川 寛恵 さん



Q.好きなことは何ですか？

A.演劇を見ることです！

Q.今後の意気込みを！

A.利用者さんと沢山楽しいお話をしていきたいです！

看護師(カモミール)かとう ゆりあ
加藤 悠里亜さん



Q.好きなことは何ですか？

A.読書です！

Q.今後の意気込みを！

A.利用者さんが楽しく、健康に過ごせるように関わっていきたいです！

編集後記

すっかり寒くなり、早いもので 2019 年も終わりを迎えようとしています。今年は私にとっては学生から社会人になる大きな変化のある 1 年でした。振り返る間もなく過ぎてしまったけれど、今思うとそれだけ濃く充実した日々を過ごせたのだと思います。みなさんはどんな 1 年でしたか？

（記：淡路）